

6. 資料

1 ニュースレター第 6 号 (年 1 回発行)

発行： 2014 年 6 月 11,000 部

内容： ・センター長挨拶「知的資源を地域へ」

・地域と歩む研究紹介

「高齢者における身体機能移動能力と運動時の疲労に対する適応能力に関する研究」

「資格取得後の介護福祉士における職場定着に影響を及ぼす促進要因に関する研究」

・地域と歩む活動紹介 地域の小中学校での「健康教育活動」

・2014 年度公開講座のご案内

・2014 年度地域貢献事業研究費 採択研究一覧

配布先：実習施設、就職施設、聖隷グループ、卒業生、同系他大学、臨床教授等、市内図書館・公民館など

2 チラシ制作

1. 公開セミナー・公開講座の案内

種類	講座タイトル
公開セミナー	対人援助の現場でいかすリーダーシップを磨こう！
公開セミナー	発達障がいを持つ人達の思春期、青年期の心理的支援・生活支援・就労支援 ～多職種連携による地域支援ネットワークの展望～
公開講座	認知症を予防しよう (全 3 回) ※ 第 1 回「認知症を知ろう」 第 2 回「認知症予防！認知症リハビリテーション」 第 3 回「認知症予防とアロマセラピー」
公開講座	トップアスリートに学ぶ、「ハードルを超える」

※浜松市からの依頼による「うごく&スマイル」(貯めよう！健康ポイント)に参加しました。

2. 2014 年度地域貢献事業研究報告会の案内

3 専任教員が大会長等になっている学術大会等への協力・後援

学術大会等	大会長等	日程
日本疼痛心身医学会 第 27 回大会	店村 真知子 社会福祉学部准教授	2014 年 9 月 13 日
日本健康科学学会 第 30 回学術大会	石井 敏弘 看護学部教授	2014 年 9 月 21 日
全国福祉 レクリエーション・ネットワーク 東海北陸ブロックセミナー in しずおか	和久田 佳代 社会福祉学部准教授	2015 年 2 月 15 日


4 浜松市との意見交換

浜松市の関係部署（子ども家庭部、健康福祉部、精神保健福祉センター）との意見交換を行い、市でも保健医療福祉分野に関する大きな課題を抱えていることと大学に対するニーズがあることを確認しました。

5 ホームページの更新

URL:<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>

大学ホームページ (<http://www.seirei.ac.jp/>) ⇒社会との連携⇒保健福祉実践開発研究センターからリンクしています。



地域と歩む

聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター
Community-Based Practice and Research Center for Health and Welfare

カテゴリ

ニュース

ウェブページ

保健福祉実践開発研究センター概要

地域貢献事業研究

講師・委員等の派遣

保健福祉実践開発研究センターへの依頼

公開セミナー・公開講座

リンク

聖隷歴史資料館

聖隷クリストファー中・高等学校

クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学

2014年6月24日 (火)

専門職向け公開セミナー「対人援助の現場でいかすリーダーシップを磨こう！」を実施しました


6月14日(土)、「対人援助の現場でいかすリーダーシップを磨こう！」と題して、コミュニケーション・ホーム喜舎代表で医療分野専門人材育成コンサルタントの生利喜佐男先生にご講演いただきました。

介護福祉士や看護師、理学療法士をはじめとする医療福祉の専門職者の方や、職場で管理者の立場となり、リーダーシップに対して悩みをお持ちの方など123名が熱心に聴講されました。

途中、いくつかの演習を行いながら進められた今回のセミナーは、最初は初対面の方向士緊張感がありましたが、徐々にあちらこちらで笑顔がみられ、3時間の講義は和やかに進行了ました。

参加者の方々からのアンケートでは「新たな気づきを得られて大変有意義だった」「具体的に何をしたらよいのか分かりやすかった」「自分自身を見直すことができた」など、多くのことを学び取ってもらえた様子が伺えました。また、「演習があり参加型だったので、3時間が楽しくあっという間だった」など、楽しんでご参加いただいた声が多く寄せられました。

参加者の皆様が本セミナーでリーダーシップについて実りある学びを得て、各職場で活かしていただけたら幸いに存じます。



講師の生利喜佐男先生

1. 更新ページ

- ・地域貢献事業研究
2014 年度地域貢献事業研究費採択課題一覧を掲載
- ・公開セミナー・公開講座
2014 年度公開講座案内を掲載、インターネット申込フォーム

2. 当センターへの問い合わせ方法

ホームページに問い合わせフォームを設置していますので、ぜひご活用ください。

URL : <http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/form.html>

カテゴリー

ニュース

ウェブページ

保健福祉実践開発研究センター概要

地域貢献事業研究

講師・委員等の派遣

保健福祉実践開発研究センターへの依頼

公開セミナー・公開講座

リンク

聖隷歴史資料館

聖隷クリストファー中・高等学校

クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学

保健福祉実践開発研究センターへの依頼

共同研究事業へのご参加や、研究支援、講師派遣、専門団体等への委員の派遣等のご相談は、下記にご連絡いただくか、申込フォームから送信してください。

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453
TEL : 053-439-1400 FAX : 053-439-1406
<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>

貴団体名

担当部署

担当者名

郵便番号

都道府県

住所

電話番号

FAX番号

メールアドレス

分類

依頼内容

入力内容確認

リセット

静岡県

☐ 共同研究事業

☐ 研究支援

☐ 審議会等委員の推薦

☐ 講師派遣

☐ その他

詳細(希望日時・期間、分野、人数等)

（確認）

電話でのお問い合わせ先 : 053-439-1400 (大学代表)



聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

Community-Based Practice and Research Center for Health and Welfare



地域と歩む

NEWS LETTER



ニュースレター
2014.6

Vol.06

CONTENTS

- 01 保健福祉実践開発研究センター長挨拶
- 02 “地域と歩む”地域貢献事業研究の紹介
 - ・『高齢者における身体機能・移動能力と運動時の疲労に対する適応能力に関する研究』
 - ・『資格取得後の介護福祉士における職場定着を促進する要因に関する研究』
- 03 “地域と歩む”地域貢献活動の紹介『浜松市内小・中学校での「健康教育活動」』
- 04 2014年度公開講座のご案内／2014年度地域貢献事業研究費採択一覧

知的資源を地域へ

聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター長
リハビリテーション学部言語聴覚学科長・教授

小島 千枝子

本センターでは、保健医療福祉分野に関する知的資源を地域に還元し、地域の保健医療福祉の質の向上に寄与することを今年度の基本目標としております。そのために、1)地域との共同事業・研究の推進、2)専門職研修の充実、3)一般市民への知的財産の提供、4)地域の保健医療福祉分野の政策形成への参画を柱とした取り組みを実施いたします。

1)の地域貢献事業研究については、研究成果の報告会を11月の聖灯祭・ホームカミングデーに同日開催いたします。2)、3)に関しては、今年度も本センターが主催して、専門職対象の公開セミナー、一般市民対象の公開講座を開催します。さらに、センターに寄せられた教員の講師派遣依頼に積極的に応えていく体制を充実させます。

保健福祉実践開発研究センターが行うこれらの事業に多くの方にご参加いただき、さまざまなご意見やご要望をお寄せいただき、それをもとにさらに「地域とともに歩むセンター」として貢献してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

保健福祉実践開発研究センターとは？

「地域と歩む」をキーワードに、保健医療福祉の実践現場との共同研究・共同事業、地域の専門職向けの研修や一般市民の方々への学習機会の提供、地域の自治体や専門分野に関わる団体への協力、地域に開かれた相談窓口等を通して、地域の保健医療福祉のさらなる質の向上に寄与するための活動に取り組んでいます。

地域貢献事業研究費2014年度報告会のご案内

2013年度に地域貢献事業研究費の採択を受けた事業研究6件のポスター発表を下記の通り開催します。聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催です。ぜひお立ち寄りください。

日時 2014年11月1日(土) 10:00～15:00(予定)

場所 聖隷クリストファー大学

※詳細は保健福祉実践開発研究センターのホームページ等でご案内いたします。



2013年度報告会の様子

地域と歩む

地域貢献事業研究の紹介

Research



当センターでは、本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する事業研究を対象として「地域貢献事業研究費」を配分しています。2013年度に採択された研究の中から2件をご紹介します。



高齢者における身体機能 移動能力と運動時の疲労に対する適応能力に関する研究

【研究代表者】
リハビリテーション学部理学療法学科長
教授 西田 裕介

共同研究者の 所属先	社会福祉法人 浜松十字の園、 アドナイ館
対象地域	浜松市北区

本研究は、本学の実習先・就職先である社会福祉法人十字の園と連携した研究です。浜松十字の園には多くの卒業生が就職しています。リハビリテーション専門職のスタッフ（理学療法士）は、そのほとんどが働きながら大学院に進学できるといった恵まれた環境のもと、理学療法における最先端のサービスを提供できる日本でも稀な特別養護老人ホームに勤務しています。今回の研究は、高齢者を対象としたリハビリテーション関連の研究の中でも、大きな話題となっている筋力の低下（特に疲労と神経活動）に着目した研究です。本研究では、身体機能・移動能力が低下している高齢者の疲労しやすい原因を明らかにし、運動の阻害要因である疲労を身体への適応反応の1つとして捉えた新たな運動プログラムの開発を行うことができました。

今後、本研究にて開発した運動プログラムを用いて、地域の高齢者の身体機能・移動能力の維持・向上に貢献していきたいと思っています。



資格取得後の介護福祉士における 職場定着に影響を及ぼす促進要因に関する研究

【研究代表者】
社会福祉学部介護福祉学科
准教授 野田 由佳里

共同研究者の 所属先	一般社団法人静岡県介護福祉士会 調査・研究委員会
対象地域	静岡県全域

介護の専門的見地に立ち、現場の状況把握、自らが行っている介護の検証、専門的研究、介護福祉分野の動向や技術の向上、機器の開発等様々な研究の機会を持ちたいと考えた有志メンバーで構成されています。本研究はそのワーキンググループの一つであり、介護職自身の力量不足を問題意識として捉え、現任者のアセスメント能力の不足がケアの低下を招くという共通の危機を抱いています。また能力開発機会の不足もバーニアウトを招く大きな要因と捉えています。

そこで本研究は、職場定着を促進する要因として、介護職自身が自らのケアを検証できる「生活歴」に特化したアセスメント能力開発ツールの開発を目指し、日々のケアを省察できる機会につなげることを目的としています。先行研究や既存のツールに加え、メンバーの介護経験を加味した項目を列記し、分類し直したものを時系列に整理し、アセスメント能力開発ツール【静岡版】Ver.I〈ASMS-1〉の作成を行いました。現在115名を対象とした予備調査の分析中です。



地域と歩む

地域貢献活動の紹介

Activity



地域の小中学校での「健康教育活動」

看護学部 助教 伊藤 純子・助教 高橋 佐和子

地域の児童・生徒の健康の保持増進に貢献すること、また地域の学校・養護教諭との交流を深めることを目的として、看護学部の伊藤純子助教と高橋佐和子助教は、主に浜松市内の小中学校において、児童生徒・教職員・保護者の方々を対象に「思春期における心・体・健康」等をテーマとした健康教育の講師を積極的に行っています。2010年度からスタートした本活動は、その内容のおもしろさが各小中学校の養護教諭の先生方の間で話題となり、毎年非常に多くの講師依頼を受けています。

ひょんなことからコンビを組み、小中学校で講演をさせていただくようになって5年目に入りました。これまでの出張回数は30施設で47回、延べ9千人以上の児童生徒、保護者の皆さんにお話をさせていただいたことになります。「大学教員の講義」と言いますと、難しく堅苦しいイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれませんが、私達は大切なメッセージはしっかりと伝えつつ、「楽しくワクワク学ぶ時間」が共有できることを目指しています。といいますのも、どんなに大切なお話をしても、聞き手の心に響かなければ仕方がないからです。

子育てをされている方なら、大切な我が子を思い、苦手な食材が美味しく食べられるようにと料理や盛りつけに心を砕いた経験があるかと思います。それと同じように、私達も健やかな命と豊かな心を育むための糧、つまり、健康的な生活習慣の定着に必要な情報やスキルが、地域の子も達へ「美味しく」届くことを願って、日々工夫を凝らすことに力を注いでいます。



左から高橋助教、伊藤助教



講演はドラマ仕立てで、「イケメン研究所の博士と助手」、「怪事件を追う熱血刑事とクールな相棒」などの愉快的ストーリーが展開します。子ども達が大好きなカードゲーム形式の教材を開発したり、デジタルネイティブと言われる世代も意識してビジュアルや効果に凝ったりなど、聞き手の背景に寄り添った構成を心がけています。さて、「イケメン」や「怪事件」が、どう健康づくりにつながるのでしょうか。ぜひ、実際に確かめてみてください。皆さまにお目にかかれますことを楽しみにしています。

2014年4月、大学生向けに行った薬物使用防止に関する講演は、公開ラジオのような演出で展開しました。

講師派遣依頼者からの感想

「周囲の視線が気になる悩み多き思春期の子どもたちの目線に立った両先生の語りはとても面白く、どの子も自分の心について楽しく、真剣に学ぶことができました。生徒の感想には「また来年が楽しみです」と、早くも次のお話を期待する声が…。私たち養護教諭もぜひ、またわくわくするお話をお聞かせいただきたいと今年もまた計画中です。」

浜松市立都田中学校 養護教諭 山本春美先生より

講師の派遣依頼は、保健福祉実践開発研究センターホームページの専用フォームをご利用ください。

大学ホームページ
http://www.seirei.ac.jp

▶ 保健福祉実践開発研究センター ▶

講師・委員等の派遣

2014年度 公開講座のご案内

主に一般の方向けの講座を「市民公開講座」、主に専門職者向けの講座を「公開セミナー」として開催しています。詳細は大学ホームページに順次掲載します。インターネット、またはFAXでお申し込みください。多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

専門職向け公開セミナー	1 リーダーシップに関する講座		2 IPW(専門職連携)に関する講座	
	テーマ	対人援助の現場でいかにリーダーシップを磨こう!	テーマ	発達障がいを持つ人達の思春期、青年期の心理的支援・生活支援・就労支援～多職種連携による地域支援ネットワークの展望～
	日時	2014年6月14日(土) 13:30～16:30	日時	2014年7月26日(土) 13:30～16:30
	講師	コミュニケーション・ホーム喜舎 代表 生利 喜佐男 氏(医療分野専門人材育成コンサルタント)	講師	NPO法人障害者支援情報センター 理事長 進藤 義夫 氏
	対象	主に保健・医療・福祉の専門職の方	対象	主に保健・医療・福祉の専門職の方
	定員	100名	定員	100名
	場所	聖隷クリストファー大学	場所	聖隷クリストファー大学

市民公開講座	1 認知症に関する講座		2 モチベーションに関する講座	
	テーマ	認知症を予防しよう(全3回) 第1回 2014年9月4日(木)「認知症とは?」 聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター長 磯貝 聡 氏 第2回 2014年9月6日(土)「認知症予防:手作業をする、頭を使う」 本学リハビリテーション学部 助教 建木 健 氏 第3回 2014年9月11日(木)「認知症予防の最近の話題:アロマテラピー」 本学看護学部 助教 村松 美恵 氏 13:30～15:00 ※1回のみの参加でも結構です	テーマ	トップアスリートに学ぶ、ハードルの越え方
	日時		日時	2014年11月1日(土) 13:00～14:00 ※聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催
	講師		講師	一般社団法人アスリート・ソサエティ 代表理事 為末 大氏 (陸上競技400mHシドニー・アテネ・北京五輪日本代表)
	対象	認知症予防に関心のある一般市民の方	対象	一般市民の方
	定員	各回50名程度	定員	500名程度
	場所	聖隷クリストファー大学	共催	・リハビリテーション学部10周年記念事業 ・聖隷クリストファー大学同窓会
			場所	聖隷クリストファー大学

インターネットからの参加申込み

FAXからの参加申込み

大学ホームページ▶保健福祉実践開発研究センター▶公開セミナー・市民公開講座
http://www.seirei.ac.jp

FAX.053-439-1406

画面の案内に従って必要情報を入力後、送信してください。

氏名(フリガナ)・住所・電話番号・FAX番号・職業(勤務先)・申込講座名をお知らせください。

2014年度地域貢献事業研究費 採択一覧

本学周辺地域の保健医療福祉分野に貢献する事業研究を対象として『地域貢献事業研究費』を配分しています。2014年度は、2014年2月に公募、4月に審査を行い、6件が採択されました。

区分A 地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究

区分B 地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究

区分	研究課題名	研究代表者(所属)	対象地域
A	実習プログラムとスーパービジョンの有機的な連携のあり方	福田 俊子(社福)	富士市・浜松市
	浜松市における成年後見制度利用状況と市民後見人養成のニーズについて～地域の特性を生かした成年後見制度の活用～	横尾 恵美子(介護)	浜松市
	官学連携による高齢者の介護予防事業の実践	吉本 好延(リハPT)	浜松市
B	地域在住者を支えるリハビリサポート体制の構築	金原 一宏(リハPT)	浜松市北区・中区
	「浜松市で障害に対する差別をなくす条例づくり」の検討	田島 明子(リハOT)	浜松市
	発達障害児への余暇支援と保護者への子育て支援の取り組み	伊藤 信寿(リハOT)	浜松市

[所属] 社福=社会福祉学部社会福祉学科 介護=社会福祉学部介護福祉学科 リハ=リハビリテーション学部 PT=理学療法学科 OT=作業療法学科

【地域と歩む】保健福祉実践開発研究センター ニュースレター 第6号

発行 聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406
Eメール:health-science@seirei.ac.jp

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

公開セミナー 後援：浜松市

受講
無料

対人援助の現場でいかす リーダーシップ を磨こう!

開催
日時

6/14

土

定員

100名

13:30~16:30〔受付・開場 13:00〕

会場 聖隷クリストファー大学 1号館

対象 主に保健・医療・福祉の専門職の方

講演内容

リーダーシップがうまく発揮できない…

自分の考えをうまくチームのメンバーに伝えることができない…

どうしたらスタッフの能力を引き出せるのだろうか…

成功の鍵はコミュニケーション力にあります。このセミナーでは、対人援助職のリーダーである皆さんが“向かい合う人”（部下や同僚、患者さんや利用者さん）に何らかの影響を与え、スタッフなら自ら考えて行動できるように導く、また患者さんなら自ら意欲を持って自立的に病气などに立ち向かえるように導くためのスキルについて学びます。



講師

なま り き さ お
生利 喜佐男氏

コミュニケーション・ホーム喜舎代表・
医療分野専門人材育成コンサルタント

一橋大学卒業後、大手製薬会社で経営企画部など戦略・企画部門の責任者として従事。人材育成にも関わり、コミュニケーションやリーダーシップを中心とした人材育成プログラムを開発し指導にあたる。その後人材育成プログラムを活用した「医療機関スタッフ研修プログラム」を開発し、全国の医療機関・調剤薬局・介護施設などで指導にもあたる。退職後、「コミュニケーション・ホーム喜舎(きっしゃ)」を立ち上げ、引き続き全国の医療機関などで教育・研修を行っている。

申込
方法

- インターネットの場合…聖隷クリストファー大学ホームページ(<http://www.seirei.ac.jp/>) → 公開講座から
- FAXの場合…聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター(053-439-1406)まで
(裏面の申込み用紙をご利用ください)

○氏名(ふりがな) ○住所 ○電話番号 ○FAX番号 ○PCメールアドレス ○職業 ○申込み講座名をお知らせください。

申込
締切

6/5

※申込締切日以降に受講票を送付いたしますので、当日お持ちください。



聖隷クリストファー大学

保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558

静岡県浜松市北区三方原町3453

看護学部/社会福祉学部/リハビリテーション学部/助産学専攻科

大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科/リハビリテーション科学研究科/社会福祉学研究科

TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp/>

交通
のご案内

●バスでお越しの方
JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由気賀・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。

●お車でお越しの方
聖隷クリストファー大学第1駐車場をご利用ください。

発達障がいを持つ人達の 思春期 青年期の 心理的支援× 生活支援×就労支援

多職種連携による地域支援ネットワークの展望

発達障がいは、「見えない障がい」であることから理解が難しく、
教育現場は元より、思春期の心理的な課題や、青年期の就労や自立といった課題で、
困難さに直面してしまうことが注目されてきています。発達障がいのある人に対して、
どのような支援が彼らと彼らの周りの人たちの幸せにつながるのか、
現場での具体的な取組の方法や、心理社会的支援、生活・就労支援などを通して、
専門職の連携と地域ネットワークについて話題にします。

開催日時 **7/26** 土 受講無料
13:30~16:30 (受付・開場13:00)

会場 聖隷クリストファー大学 1号館7階 1701大教室
対象 保健・医療・福祉の専門職の方 定員 先着100名

第1部 基調講演

成人期発達障がいへの
就労支援を中心とした実践と課題
～個別の世界の理解を巡る格闘と地域連携～

特定非営利活動法人 障害者支援情報センター 理事長 **進藤 義夫氏**



講師 進藤 義夫氏

平成3年 若者のための精神障害者共同作業所「T&E企画」指導員(所長)。「作業所見学ツアー」「ネットワーク型の就労支援」などのネットワーク構築を行い、平成13年 特定非営利活動法人障害者支援情報センター設立。生活保護受給中の長期入院精神障害者の退院促進から、商工会議所・青年会議所・ライオンズクラブなどの企業団体と連携しての就労支援まで幅広く支援活動を行っている。

第2部 シンポジウム

思春期、青年期の発達障がいを持つ人達への
心理的支援・生活支援・就労支援の実際と課題

シンポジスト

- 浜松市発達相談支援センタールピロ 所長 内山 敏 氏(臨床心理士・小児発達学博士)
- 京丸園株式会社 園主 鈴木 厚志 氏
- 医療法人社団至空会 ワークだんだん 和田 里美 氏(精神保健福祉士)

申込方法

- インターネットの場合…聖隷クリストファー大学ホームページ(<http://www.seirei.ac.jp/>) → 公開講座から
- FAXの場合…聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター(053-439-1406)
(裏面の申込み用紙をご利用ください)
- 氏名(ふりがな) ○住所 ○電話番号 ○FAX番号 ○PCメールアドレス ○職業 ○申込み講座名をお知らせください。

申込締切

7/15 火

※申込締切日以降に受講票を送付いたしますので、当日お持ちください。



聖隷クリストファー大学
保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558
静岡県浜松市北区三方原町3453

看護学部/社会福祉学部/リハビリテーション学部/助産学専攻科
大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科/リハビリテーション科学研究科/社会福祉学研究科

TEL.053-439-1400 FAX.053-439-1406 <http://www.seirei.ac.jp>

交通のご案内

- バスでお越しの方
JR浜松駅北口バスターミナル15番ポール
「聖隷三方原病院経由気賀・三ヶ日行」
乗車「聖隷三方原病院」下車徒歩約3分。
- お車でお越しの方
聖隷クリストファー大学第1駐車場をご利用ください。

主催：聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

2014年度公開講座・浜松市健康ポイント“うごく&スマイル！”参加プログラム

認知症を予防しよう

専門の先生によるお話を通して、認知症に関する正しい情報を得ていただいた上で、認知症の予防にもなるといわれているリハビリテーションとアロマセラピーを紹介し、楽しく日常生活を送っていただくための講座を開催します。

参加対象：一般の方（どなたでも）

後援：浜松市

参加
無料

日 時・テーマ		内 容	講 師
第1回	2014年 9月 4日(木) 13:30～15:00 認知症を知ろう	齢を重ねると、“忘れた”という経験をする ことが多くなります。加齢による物忘れと、 認知症による物忘れは違います。この違いを 理解するため、認知症について専門の先生の お話をお伺いします。	聖隷三方原病院 浜松市認知症疾患医療センター センター長 磯貝 聡 氏
第2回	2014年 9月 6日(土) 13:30～15:00 認知症予防！認知症 リハビリテーション	認知症予防と認知症進行を遅くするため、病 院や施設で取り組まれているリハビリテー ションのノウハウをわかりやすく説明しま す。より長い健康寿命を得るために日常生活 を変えてみませんか？	聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 建木 健
第3回	2014年 9月 11日(木) 13:30～15:00 認知症予防と アロマセラピー	最近、ローズマリーやオレンジといったアロ マの香りが、脳に対する活性作用を示すと言 われ注目されています。今回は、代表的なア ロマについてお話しし、少しでも、アロマ の香りを体験していただこうと考えていま す。	聖隷クリストファー大学 看護学部 看護学科 助教 村松 美恵

会場：聖隷クリストファー大学 3号館1階（浜松市北区三方原町3453）

申し込み・問い合わせ先

聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター

TEL:053-439-1400 FAX:053-439-1406

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 <http://www.seirei.ac.jp>

【申込方法】インターネットまたはFAXでお申し込みください。

○[大学ホームページトップ]⇒[保健福祉実践開発研究センター]⇒[公開講座]

○FAXでお申し込みの場合は、裏面をご利用ください。

【申込締切】

8/26（火）

【定員】

各回先着50名

いずれかの回のみ

のご参加でも

結構です。

公開講座

聖隷クリストファー大学
リハビリテーション学部

10周年記念講演 ハードルを超える

トップアスリートが一流であり続けるためには困難な壁があります。
競技に打ち込む独自のスタイルと自分を見つめて
思索する姿が感銘を呼び、「走る哲学者」とも呼ばれる
為末大氏を講師にお招きし、モチベーションの保ち方や
心構えなどについてお話しいたします。

2014.11/1(土)
13:00~14:00(受付 12:15~12:45)

会場 聖隷クリストファー大学 第一体育館
対象 一般の方
定員 先着400名

参加
無料

講師

一般社団法人
アスリート・ソサエティ 代表理事
ためすえ だい
為末 大 氏

2000年 シドニーオリンピック 400mハードル出場
2001年 世界陸上エドモントン 400mハードル 銅メダル
2004年 アテネオリンピック 400mハードル 準決勝進出
2005年 世界陸上ヘルシンキ 400mハードル 銅メダル
2008年 北京オリンピック 400mハードル 出場
2012年 日本選手権を最後に25年間の現役生活を引退

元陸上競技選手・400mハードル日本記録保持者。
陸上スプリント競技で日本人初のメダルを獲得する
など、世界選手権で2度の銅メダルを獲得。オリンピック
はシドニー、アテネ、北京の3大会に出場。2010年、アス
リートの社会的自立を支援する「一般社団法人アスリート・
ソサエティ」を設立、代表理事を務めている。現在は、
アスリートのセカンドキャリア支援、執筆、テレビ出演等
多方面でスポーツと社会についての活動を広げて
いる。著書に「走る哲学」(扶桑社新書)、「走りながら
考える」(ダイヤモンド社)、「負けを生かす技術」(朝日
新聞出版)、「諦める力」(プレジデント社) ほか多数。



申込
方法

【インターネットの場合】

聖隷クリストファー大学ホームページ[<http://www.seirei.ac.jp>] ▶ 公開講座から

【FAXの場合】裏面の申込み用紙をご利用ください。

※申込締切日以降に参加票を送付いたしますので、当日お持ちください。

受付
期間

9/1(月) → 10/20(月)

お申込みは、受付期間中にお願いいたします。
なお定員に達し次第、受付を終了いたします。

主催 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 / 聖隷クリストファー大学 同窓会 / 聖隷クリストファー大学 保健福祉実践開発研究センター (後援) 浜松市



聖隷クリストファー大学

保健福祉実践開発研究センター

〒433-8558
静岡県浜松市北区三方原町3453

看護学部 / 社会福祉学部 / リハビリテーション学部 / 助産学専攻科 /

大学院博士前期課程・博士後期課程 看護学研究科 / リハビリテーション科学研究科 / 社会福祉学研究科

TEL.053-439-1400

FAX.053-439-1406

<http://www.seirei.ac.jp>

聖隷クリスティア大学 保健福祉実践開発研究センター 地域貢献事業研究報告会

2014年11月1日（土） 聖灯祭・ホームカミングデーと同日開催
1号館4階 1409教室にて 10：00 ～ 15：00

2013年度に実施された
地域貢献事業研究の
6件のポスター報告と
プレゼンテーション
を行います！

ポスター展示を見ながら
休憩スペースとしても
どなたでもご利用ください！
お茶・お菓子も
テイクフリーです！



ヴァイオリン・ピアノ
ミニコンサート
10：00～12：00 の間に関催！
看護学部卒業生 伊藤ちささん
社会福祉学部 店村真知子 准教授

研究課題

研究代表者(所属)

保健専門職が対応するクレーン特化型研修プログラムの共同開発	伊藤 純子 (看護学部)
介護福祉士資格取得後に職場定着に影響を及ぼす促進要因に関する研究	野田 由佳里 (社会福祉学部)
高齢者における身体機能と運動時の疲労に対する適応能力に関する研究	西田 裕介 (リハビリテーション学部)
地域在住高齢者を支えるリハビリサポート体制の定着	金原 一宏 (リハビリテーション学部)
発達障がいをもつ児童への支援の確立および少～青年期の支援研究	伊藤 信寿 (リハビリテーション学部)
地域における言語聴覚士の専門性の活かし方を検証～ことばの教室の先生を対象とした機能性構音障害のスキルアップ研修を開講～	池田 泰子 (リハビリテーション学部)

地域貢献事業研究とは：

本学周辺地域地域の保健医療福祉分野に貢献する研究事業を対象として配分する『地域貢献事業研究費』により実施された研究のことです。
当センターは「保健医療福祉分野に係るすべての人の人たちの共同事業・研究」を推進し、共同で課題解決を図ります。